

補修・補強工事調書の記入要領（案）

1．目的

本要領（案）は、橋梁を対象とした補修・補強工事の概要を記録としてとりまとめ蓄積するための「補修・補強工事調書」の作成要領を示すものであり、この調書は竣工図書とする。

2．調書作成の対象工事

補修・補強工事調書の作成対象工事は、橋梁完成後に実施された全ての補修・補強工事（再塗装工事、耐震対策や拡幅など機能向上を目的とした工事を含む。日常の維持工事は除く。）とする。

3．補修・補強工事調書の記入方法

本調書は、対象橋梁の基本情報と補修・補強工事の基本情報を整理する。
記入方法は、以下のとおりとする。

- ・工事名 : 補修・補強工事名を記入する。
- ・施工会社 : 補修・補強工事を実施した施工会社名を記入する。
- ・補修・補強年月日 : 補修・補強工事の竣工年月日を記入する。
- ・工事概要 : 補修・補強工事の概要を 200 字程度以内で簡潔に記入する。
- ・設計会社 : 当該補修・補強の設計会社名を記入する。設計を工事に含めた場合は、施工会社名を記入する。
- ・設計活荷重 : 補修・補強設計に適用した活荷重を記入する。
- ・適用示方書 : 補修・補強設計に適用した示方書を記入する。
- ・工事費 : 補修・補強工事の経費等を含む全体工事費を百万円単位で記入する。一工事に 2 橋以上の補修・補強が含まれる場合は、按分して当該橋梁分を記入する。
- ・工事内訳 : 補修・補強工事で採用した代表的な工法を、径間別、部位・部材区別に、付表-1 から選択して記入する。なお、径間番号は定期点検調書（その 2）の径間番号を、部位・部材区分は対象とする部材名を、部材番号は補修・補強を実施した定期点検調書（その 4）の部材番号を記入する。
- ・再塗装仕様 : 補修・補強工事内容に再塗装が含まれる場合は、素地調整（ケレン）の分類と塗装仕様を記入する。

付表-1 補修・補強工法表

新規設置(橋梁付属物・支承含)
修復工法(橋梁付属物・支承含)
取替工法(橋梁付属物・支承含)
打換え工法(舗装)
矯正工法
ストップホール工法
添設補強工法
溶接補修工法
再塗装
補強材工法
桁増設工法
縦桁増設工法
添接板高力ボルト締付工法
支持工法
ひびわれ注工法
U(V)カット(充填)工法
アンカー工法(ひび割れ縫い合わせ)
断面修復工法(打換え工法)
断面修復工法(吹付工法)
断面修復工法(パンチング工法)
断面修復工法(プレパックド工法)
表面保護工法(表面被覆工法)
表面保護工法(表面処理工法)
表面保護工法(埋設型砕工法)
床版防水の設置工
防錆工法
電気化学的補修(脱塩工法)
電気化学的補修(再アルカリ化工法)
電気防食工法
打継ぎ工法(構造部材)
打換え工法(構造部材)
打換え工法(プレキャスト床版へ)
取替工法(構造部材)
上面コンクリート増厚工法
下面コンクリート増厚工法
RC巻立工法
壁増設
支持点増設工法
鋼板巻立工法
鋼板接着工法
炭素繊維シート巻立工法
炭素繊維シート接着工法
アラミド繊維シート巻立工法
アラミド繊維シート接着工法
外ケーブル工法
内ケーブル工法
地中壁・梁増設工法
杭・フーチング増設工法
地盤改良工法
鋼矢板締切工法
根固め工法
グランドアンカー工法
拡幅
架替え
その他の工法
記入事項なし
不明

4 . 様式及び記入例

補修・補強工事調書					
項目	内容				
地方整備局	地方整備局				
事務所	事務所				
出張所	出張所				
路線名	####				
橋梁名	橋				
橋梁名(フリガナ)	マルマルバシ				
工事名	橋他補修工事				
施工会社	工事株式会社				
補修・補強年月日	2000/3/31				
工事概要 (200字程度以内)	橋の第1径間において、活荷重の繰返し作用による疲労により発生したRC床版のひび割れ対策として、鋼板接着工法(厚さ4.5mm)、縦桁増設工法、ひびわれ注入を行った。また、主桁の再塗装、A1橋台のアルカリ骨材反応等に対して補修を行った。				
設計会社	コンサルタント(株)				
設計活荷重	B活荷重				
適用示方書	平成8年道路橋示方書 I 共通編、IIIコンクリート橋編				
工事費(百万円)	90				
工事内訳		径間番号	部位・部材区分	部材番号	補修・補強工法
	1	1	床版	00	鋼板接着工法
	2	1	床版	00	桁増設工法
	3	1	床版	00	ひびわれ注入工法
	4	1	主桁	01,02,03,04,05	再塗装
	5	1	橋台	01,02	断面修復工法(プレパッド工法)
	6	1	排水ます	00	その他
	7				
	8				
	9				
再塗装仕様	下塗り	エポキシ樹脂下塗り塗料			
	中塗り	ポリウレタン樹脂用中塗り塗料			
	上塗り	ポリウレタン樹脂上塗り塗料			
	素地調整	3種ケレン			
調書作成年月日	2000/3/31				

竣工年月日を西暦で記入する。

工事概要を200字以内で簡潔に記入する。

当該補修・補強の設計会社名(設計を工事に含めた場合は施工会社名)。

補修・補強設計に適用した活荷重。

補修・補強設計に適用した示方書。

補修・補強工事の全体工事費(仮設費、経費を含む)を記入する。

補修・補強工事で採用した工法を、径間別、部位・部材区別に記入する。

再塗装の場合の塗装仕様。

西暦で記入する。